

# 事業評価表

京都府南丹市  
作成日：平成21年05月15日

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0106202 - 05020

事業名	森林整備事業	事業運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等				所管部署名等
細事業名	市行分収造林事業	委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体				農林商工部 農林整備課 担当：谷 裕之
事業区分	事業分類：(B) ソフト事業    政策体系CD: 211 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)		<input checked="" type="checkbox"/> その他 (美山町森林組合)				
		関連法令・条例等	南丹市市行分収造林条例				

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
市(旧町美山町)、土地所有者、美山町森林組合の3者で契約し、造林補助金等を活用して、土地所有者の代わりに市が事業主体となり森林施業を実施するものである。
- ②事業を実施する必要性  
1958年にできた分収林特別措置法に基づき、土地所有者に代わって造林を行い、育った木材を伐採して得られた収入を分配するもので、社会情勢が契約当初と大きく変化してきたが、引き続き森林の公益的機能の維持増進と森林資源の造成には必要不可欠な事業である。
- ③未実施事項  
計画どおり実行できた。
- ④他にも効果が見込める施策があるか  
・第2章1 豊かな緑と清流を守る  
森林整備事業の推進により、間伐の遅れや手入れ不足により放置された人工林の森林施業を行い、森林資源が継続的に循環利用できる持続可能な森林づくりが図れる。

## 【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	20,181	20,915	23,951	21,864	21,864
うち一般職、嘱託職、臨時職給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	9,940	10,103	15,559	12,143
	地方債	千円	6,400	7,100	3,800	5,600
	一般財源	千円	3,841	3,712	4,592	4,121
職員等従事人員	人/年	—	—	0.20		
人件費	千円	—	—	1,327		
事業費総額	千円	—	—	25,278		

## 【主な支出の内訳】

森林施業(除伐・枝打・間伐・丸剥ぎ防止ロープ巻き等)の実施	22,780千円(委託料)
分収造林地の保険料	375千円(役務費)
平成16年発生台風23号被害地復旧保険金剰余金を土地所有者と分収	795千円(補填金)

## 【近隣市町村の取り組み状況】

把握していない。

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

前年度評価なし

## 【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
公益的機能の維持増進を含めた森林施業。
- ②当該事業のアピール事項  
市が森林所有者に代わって森林整備をする。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
社会情勢が大きく変化してきたが、森林資源の造成と森林の持つ公益的機能の維持増進には、継続的な取組が必要である。

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	211	事業名	森林整備事業			
事業CD.	106202-05020	細事業名	市行分収造林事業			
所管部局	農林商工部	所管課	農林整備課	担当	谷 裕之	

106202-05020

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
森林 施業	市行分収造林地(市、土地所有者、事業実施者の3者で契約し造林補助金等を活用して土地所有者に代わり市が事業主体となって森林施業を実施し、伐採期に得られた収益を分配する)の森林施業を実施する。 除伐 12ha 枝打 29ha 間伐 25ha クマ剥ぎ防止ロープ巻き 28ha 平成16年発生台風23号被害地復旧 12ha	20.6~20.11	社会情勢が契約当初と大きく変化してきたが、引き続き森林の公益的機能の増進と森林資源の造成に寄与できた。